

平成25年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイケイ
 コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 飯田 裕
 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-486-5050

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第1四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第1四半期	2,652	2.7	△3	—	△3	—	△16	—
24年5月期第1四半期	2,581	23.9	67	—	59	—	29	—

(注) 包括利益 25年5月期第1四半期 △16百万円 (—%) 24年5月期第1四半期 30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第1四半期	△924.57	—
24年5月期第1四半期	1,680.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第1四半期	4,286	1,449	33.8	82,412.41
24年5月期	4,429	1,494	33.7	84,931.52

(参考) 自己資本 25年5月期第1四半期 1,449百万円 24年5月期 1,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	1,600.00	1,600.00
25年5月期	—	—	—	—	—
25年5月期(予想)	—	0.00	—	1,800.00	1,800.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,950	8.8	110	△26.9	110	△23.6	60	△26.4	3,410.84
通期	12,660	8.4	400	21.5	400	21.2	240	18.5	13,643.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年5月期1Q	19,520 株	24年5月期	19,520 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年5月期1Q	1,929 株	24年5月期	1,929 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期1Q	17,591 株	24年5月期1Q	17,591 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人消費に緩やかながら改善が見られ、景気は回復基調にあるものの、欧州債務危機を背景とする海外景気の減速懸念、長期化する円高と電力供給不安の影響などにより、景気先行きに不透明感を残したまま推移いたしております。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第1四半期連結累計期間において、通信販売事業では、メーカーベンダー業態を定着させるため、売上高に占める当社開発商品の売上比率を当連結会計年度末までに30%達成を目標とし、雑貨類・食品類ともに新商品の開発に注力してまいりました。また、営業面では「美容・健康」をキーワードとした商品の拡販に注力いたしました。

SKINFOOD事業では、首都圏でのドミナント化を目指し、当四半期にアトレ恵比寿店、ルミネ荻窪店の2店を出店いたしました結果、当四半期末の店舗数は直営店24店舗（前年同期末16店舗）、FC店1店舗（前年同期末3店舗）の25店舗（前年同期末19店舗）となりました。

CRMソリューション事業では、主力商品の通話録音システム「VOI STORE」の販売をパートナー企業さんと共に情報交換を密にししながら強化してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,652百万円（前年同期比2.7%増）、営業損失3百万円（前年同期は67百万円の営業利益）、経常損失3百万円（前年同期は59百万円の経常利益）、四半期純損失16百万円（前年同期は29百万円の四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

＜通信販売事業＞

売上高は2,307百万円（前年同期比1.2%増）となり、営業利益は26百万円（前年同期比58.6%減）となりました。

＜SKINFOOD事業＞

売上高は314百万円（前年同期比16.1%増）となり、営業損失は1百万円（前年同期は22百万円の営業利益）となりました。

＜CRMソリューション事業＞

売上高は30百万円（前年同期比0.7%減）となり、営業損失は26百万円（前年同期は16百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前期末に比べ139百万円減少しました。

主な流動資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が304百万円減少し、「商品及び製品」が165百万円増加したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、4百万円減少しました。

主な固定資産の変動は、「無形固定資産」が10百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,286百万円となり、前期末に比べ143百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前期末に比べ101百万円減少しました。

主な流動負債の変動は、「買掛金」が47百万円、「役員賞与引当金」が35百万円、「その他」が188百万円、それぞれ減少し、「短期借入金」が190百万円増加したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前期末に比べ2百万円増加しました。

主な固定負債の変動は、「退職給付引当金」が2百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は2,836百万円となり、前期末に比べ99百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前期末に比べ44百万円減少しました。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が44百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月10日に公表いたしました平成25年5月期第2四半期(累計)、通期の業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,693	103,143
受取手形及び売掛金	2,080,185	1,775,983
有価証券	84,108	83,157
商品及び製品	977,134	1,142,349
原材料及び貯蔵品	3,861	3,623
その他	145,407	125,612
貸倒引当金	△3,527	△3,366
流動資産合計	3,369,863	3,230,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	305,612	306,311
土地	260,225	260,225
その他(純額)	27,193	28,095
有形固定資産合計	593,032	594,633
無形固定資産		
のれん	26,851	22,376
その他	81,050	75,512
無形固定資産合計	107,902	97,889
投資その他の資産		
その他	359,011	363,274
貸倒引当金	△130	△4
投資その他の資産合計	358,881	363,270
固定資産合計	1,059,815	1,055,793
資産合計	4,429,679	4,286,298
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,149,406	1,101,992
短期借入金	60,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	403,424	385,284
役員賞与引当金	38,854	2,890
ポイント引当金	16,196	16,368
返品調整引当金	11,039	9,091
その他	594,186	405,734
流動負債合計	2,273,105	2,171,360
固定負債		
長期借入金	481,841	479,640
退職給付引当金	58,515	61,138
役員退職慰労引当金	114,349	116,132
その他	7,838	8,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
固定負債合計	662,543	665,221
負債合計	2,935,649	2,836,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	324,449	324,449
利益剰余金	852,921	808,511
自己株式	△84,490	△84,490
株主資本合計	1,494,630	1,450,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△600	△504
その他の包括利益累計額合計	△600	△504
純資産合計	1,494,030	1,449,716
負債純資産合計	4,429,679	4,286,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
売上高	2,581,508	2,652,226
売上原価	1,560,982	1,601,964
売上総利益	1,020,525	1,050,262
販売費及び一般管理費	953,440	1,053,641
営業利益又は営業損失(△)	67,085	△3,379
営業外収益		
受取利息	34	299
受取手数料	1,481	1,070
その他	1,049	934
営業外収益合計	2,566	2,303
営業外費用		
支払利息	4,192	2,908
為替差損	5,520	—
営業外費用合計	9,713	2,908
経常利益又は経常損失(△)	59,938	△3,984
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	59,938	△3,984
法人税等	29,152	12,279
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	30,785	△16,264
少数株主利益	1,216	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,568	△16,264

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	30,785	△16,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	96
その他の包括利益合計	△168	96
四半期包括利益	30,617	△16,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,400	△16,168
少数株主に係る四半期包括利益	1,216	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社は、平成24年9月27日開催の取締役会において固定資産の譲渡を決議し、下記のとおり契約を締結しております。

1. 譲渡の理由

当社は、経営活動をより迅速かつ効率的に行うことが業績向上に資すると考えており、このたびワンフロア一での経営活動が望ましいと判断いたしました。これに伴い、本社事務所を賃貸オフィスに移転することとし、当社が所有する固定資産を売却することいたしました。

2. 譲渡資産の内容

- | | | |
|-----------|------------------------------|-----------|
| (1) 資産の内容 | 土地 | 968.68㎡ |
| | 建物 | 1,157.28㎡ |
| (2) 所在地 | 名古屋市中村区太閤通五丁目24番 | |
| | 名古屋市中村区西米野町三丁目3番、3番2、3番3、3番4 | |
| | 名古屋市中村区西米野町四丁目7番、8番、9番 | |
| (3) 帳簿価額 | 258百万円（平成25年5月末見込み） | |
| (4) 譲渡価額 | 300百万円 | |
| (5) 現況 | 本社ビル及び駐車場 | |

3. 譲渡の日程

平成24年9月27日	取締役会決議
平成24年9月27日	売買契約書締結
平成25年5月31日まで	物件引渡し

4. 損益に与える影響額

上記固定資産の譲渡に伴い譲渡益42百万円(概算)が発生いたしますが、譲渡に伴って付随する諸費用を差し引いた金額を平成25年5月期決算において特別利益として計上する見込みであります。